

# まえばし 市議会だより

No.164

2023・8

前橋市議会発行

## — 主な内容 —

- 第2回定例会の概要…………… P.2
- 会派別の質問事項…………… P.2～3
- 総括質問…………… P.4～10
- 議案・請願の議決結果…………… P.11
- 意見書…………… P.12

前橋七夕まつり



前橋市議会ホームページ

<https://www.city.maebashi.gunma.jp/gikai/index.html>

第二回定例会を六月十三日から二十九日まで開き、「令和五年度一般会計補正予算」などの市長提出議案四十九件、議会議案二件、請願一件、意見書案十件を審議しました。その概要を紹介します。

○第1日（6月13日）

阿部議長が第二回定例会の開催を宣告した後、会期を二十九日までの十七日間とすることを決め、三人の会議録署名議員を指名しました。

次に、「令和五年度一般会計補正予算」など二十五件の市長提出議案を上程し、所管の各部長から提案理由の説明がありました。

○第2日（6月20日）

上程中の議案や市政に対し、十一人の議員が総括質問を行い、市長や所管の部長などがこれに答えました。（総括質問の要旨は4頁〜10頁に掲載）

○第3日（6月21日）

前日に続き、十二人の議員が総括質問を行いました。

○第4日（6月22日）

前日に続き、七人の議員が総括質問を行いました。

括質問を行いました。

次に、上程中の議案二十五件について、委員会付託を省略し、日本共産党市議団から「令和五年度一般会計補正予算」など四議案に対する反対討論の後、採決を行い、全て原案のとおり可決及び承認しました。（議決結果は11頁に掲載）

続いて、「就学援助制度の改善を求める請願」を上程し、教育福祉常任委員会に付託、審査することとなりました。

次に、県外先進地調査のため議員派遣五件を議題とし、申し出のとおり承認しました。

○第5日（6月29日）

初めに、教育福祉常任委員会に付託していた請願一件について、審査結果報告及び討論を行い、採決の結果、委員長報告のとおり不採択となりました。



▲提案理由を説明する山本市長

次に、議会の意思として、市民の公益に関する意見を国会や関係行政庁に提出しようとする意見書案十件を上程し、採決を行った結果、「出生前、新生児期及び小児期における難聴対策の充実を求める意見書」など三件を可決し、第二回定例会は閉会しました。（可決した意見書の要旨は12頁に掲載）

会派別の質問事項

□前橋令明

- ①市長の市政運営
- ②前橋市の国際交流
- ③前橋市のスポーツへの取組
- ④環境政策
- ⑤こども未来部の新設
- ⑥民間活力導入による前橋テルサ活用事業
- ⑦給食費
- ⑧下水道事業
- ⑨再公募
- ⑩近隣自治体との連携
- ⑪デジタル化
- ⑫教育行政
- ⑬環境行政
- ⑭消防行政
- ⑮不登校支援
- ⑯空き家
- ⑰道水路管理
- ⑱農業
- ⑲サッカー場整備
- ⑳前橋総合運動公園
- ㉑社会教育
- ㉒公共施設の活用
- ㉓前橋工科大学
- ㉔空き校舎の活用
- ㉕外国人共生
- ㉖市立保育所
- ㉗地域の諸課題
- ㉘めぶくグラウンド株式会社への現物出資
- ㉙带状疱疹ワクチン
- ㉚江田天川大島線
- ㉛自転車交通安全
- ㉜下村家住宅の有形文化財登録
- ㉝職員の勤務時間、休暇等に関する条例改正
- ㉞市役所構内駐車場整備
- ㉟

# 各会計補正予算などを議決 一般会計補正後の予算額は1510億円

未来型政策事業③⑥公共交通③⑦高齢化の現状③⑧都市計画③⑨観光政策

策  
**□前橋高志会** ①補正予算②子供政策③町社協の取組④建設労働者の雇用改善⑤離農者の抑制⑥本市の専門職⑦本市の上下水道ビジョン⑧地域の諸課題⑨介護施策⑩市民協働事業⑪危機管理施策⑫鳥獣害対策⑬まちづくり振興⑭災害及び防疫対応における建設業界との連携⑮旧広瀬中学校の利活用⑯市政の課題⑰地域の課題

**□日本共産党市議団** ①マイナ保険証の問題点②国保税の負担軽減③第九期介護保険事業計画策定に向けての課題④ガスパクサツ群馬の練習拠点、(仮称)前橋サッカー場整備の問題点⑤高齢者、介護者への福祉支援策⑥各種選挙における投票率向上策⑦学童保育の拡充⑧苗ヶ島町のバイオマス発電施設の問題点⑨熱中症対策  
**□公明党市議団** ①議案第八十四号②子育て世帯への食料支援③支所及び出張所④芸術文化振興⑤前橋市DX推進計画⑥駒寄スマートIC産業団地造成事業⑦教育行政⑧防災⑨前橋市地球温暖化防止実行計画⑩住宅政策

**□かがやき**

①障害者施策②子

育て施策③公園④上毛電鉄⑤学校教材の調達⑥シティプロモーション⑦地域の諸課題⑧健康医療都市⑨街路樹の管理⑩鳥獣被害の対策⑪日赤病院跡地生涯活躍のまち

**□市民フォーラム** ①防災対策②防犯対策③子育て政策④ごみ対策⑤交通対策⑥公立学校の体育館への空調設備⑦本市の交通安全対策⑧福祉、共生施策充実⑨本市職員の働き方⑩本市の安心安全なまちづくり

**□さきがけ赤城** ①地方創生臨時交付金②地縁団体総会の委任状③地方公務員アワードの取組  
**□なないろ** ①学校行政②動物  
**□赤利根** ①新しい価値の創造②アーツ前橋③部活動  
**□七星** ①官民連携②広域連携③群馬県知事要望

**政務活動費の情報公開**

議員が行う調査研究などの活動に必要な経費の一部として、議員一人当たり月十万円の政務活動費を会派に対して交付しています。

令和四年度分の収支報告書及び領収書などの証拠書類は市庁舎二階の情報公開コーナー、市議会ホームページで公開しています。

**議員表彰**



長年にわたり地方自治の発展と市政の振興に貢献された功績に対し、岡田修一議員が議員35年以上で、横山勝彦議員が議員30年以上で、鈴木俊司、笠原久各議員が議員15年以上で、新井美加、窪田出、須賀博史各議員が議員10年以上で全国市議会議長会から表彰されました。

定例会最終日の開議に先立ち、表彰状の伝達が行われ、次いで、議長及び市長から感謝状が贈呈されました。

**議会日誌**

5月22日	市民経済常任委員会 建設水道常任委員会 ICT利便性向上調査特別委員会
23日	総務常任委員会 教育福祉常任委員会
6月5日	各派代表者会議 議会運営委員会 議会図書室運営委員会
13日	各派代表者会議 議会運営委員会 本会議(第1日)
20日	議会運営委員会 本会議(第2日)
21日	議会運営委員会 本会議(第3日)
22日	各派代表者会議 議会運営委員会 本会議(第4日)
27日	教育福祉常任委員会
29日	各派代表者会議 議会運営委員会 本会議(第5日)



前橋令明  
横山 勝彦



## 市長の市政運営

〈問〉前橋市民は、前橋の文化と誇りを持って生活をしています。リーダーとしての市長を見守っています。市長は来期も引き続き市政のかじ取りとなりえるのか、なるつもりがあるのか、どうやって発揮していくつもりなのか、伺います。

〈答〉十二年間の総括を市民に評価してもらったり、いろいろな人々との意見交換をしながら、私なりに挑戦しうる日々をこれから過ごしたいと思っています。

## 台南フェアの開催

〈問〉道の駅まえばし赤城における台南フェアの開催の目的と事業概要について、伺います。

〈答〉開催の目的は、台南市長を表敬訪問した際、未来に向かって多方面で連携することを確認し、第一弾として市民に台南市の食や文化を知ってもらうためです。羽鳥重郎、羽鳥又男、金子昌太郎など本市出身の偉人や台南市の観光、歴史、文化を紹介します。事業の概要としては、台南市の飲食店ブース設置のほか、アトラクションなどのイベントも実施予定です。また



台南フェア

七月一日には台南市長も訪れ、記念セレモニーを開催予定です。



前橋令明  
新井 美加



## 出産・子育て応援給付金事業

〈問〉国が新たに打ち出した出産・子育て応援給付金事業は、妊産婦への伴走型相談支援と出産・子育て応援給付金を一体的に実施する事業ですが、これまでの実施状況について伺います。

〈答〉伴走型相談支援は、妊娠八か月頃の全妊婦を対象に産産に向けた悩みなどを確認することが追加されました。また、出産・子育て応援給付金は、事業開始前までに妊娠届または出生届を出した経過措置対象者の九六%以上である四千三百六十五人、事業開始以降三月末までに五百九十四人に支給しました。

## 公共交通ネットワークの見直し

〈問〉公共交通ネットワークの見直しや各種施策を進めるうえ

で、特に吉岡町や榛東村との連携が重要となってくると考えますが、見解を伺います。

〈答〉群馬総社駅の西口開設に合わせ、吉岡町ともバスなど公共交通の再編やパークアンドライド機能など、利便性の向上について協議しています。引き続き周辺自治体や群馬県、交通事業者などと協議を重ねることで、より利用しやすい公共交通ネットワークの構築に取り組んでいきたいと考えています。



前橋令明  
小岩井 僚太



## チャットGPT

〈問〉チャットGPTのような最先端技術の安全面を考慮しながらの試験導入が必要と考えますが、見解を伺います。

〈答〉世の中の変化や進捗に合わせ、住民サービスの向上につながる可能性のある新たな技術を有効に使いこなすことは重要で、チャットGPTをはじめとする生成AIの活用についても前向きに検討していきたいと考えています。今後、前橋市DX推進計画に基づく庁内横断的なワーキンググループ活動の中で具体的な活用を検討、試行していきたいと考えています。

## 部活動へのシーズン制の導入

〈問〉今後、中学校で行われている部活動が段階的に地域スポーツ団体などに移行され、子どもたちのさまざまな活動が可能となる一つの契機と考えています。アメリカの部活動のようなシーズン制を導入し、子どもたちの可能性を最大限に引き出すことも考えていくべきだと思いますが、見解を伺います。

〈答〉シーズン制を含め、生徒の興味、関心に応じた多様な活動が可能になることは、まさに生徒の可能性を引き出す一つの契機になると考えています。



前橋令明  
市村 均光



## 道路の堆積土砂対策

〈問〉城南地区では道路に面した畑が多く、ゲリラ豪雨などで土が道路に流れ出たり、冬の北風で土が飛散して道路に堆積し、外側線が見えなくなったりする事例が少なくありません。このような道路の堆積土砂について、本市ではどのような対策に取り組んでいるのか伺います。

〈答〉強風などで農地の土が飛散した堆積土砂の除去については、対象農地などの所有者に除去や飛散防止をお願いしていま

す。今後も関係部署や地元自治会と連携しながら道路の堆積土砂の対応を図っていきます。

## 学校の校庭でイベントを

〈問〉最近、本市内の公園など公共施設の活用が推進されており、多様なイベントを実施している場面を多く見るようになりましたが、これと同じ考え方で、学校の校庭を利用することが可能なのか伺います。

〈答〉学校施設は教育財産であり、学校用途以外の使用については使用許可が必要です。許可の要件は公共の用に供する場合に限りですので、イベントを開催する場合はその目的をよく確認したうえで許可するかどうかを判断することとなります。



前橋 令明  
佐藤 祥平



## 旧春日中学校の跡地活用方針

〈問〉令和三年四月に明桜中学校に統合し、廃校となった旧春日中学校について、跡地の活用方針を伺います。

〈答〉民間への個別の聞き取り調査などにより、土地、建物の売却による活用見込みがあることを確認しています。これに加え、明桜中学校の整備に有利な市債を活用し、明桜中学校の供

用開始から五年以内に既存施設の廃止を行う必要があることから、売却を含めた事業者公募に向けて検討を進めています。

## 上川淵地区郷土民俗資料館

〈問〉上川淵地区郷土民俗資料館を管理運営する会員の高齢化が進み、将来にわたる継続が難しくなっています。文化施設として市に移管する今後の可能性について、見解を伺います。

〈答〉上川淵地区郷土民俗資料館に保管、展示されている文書資料や古民具などは、地域の貴重な民俗資料です。まずは地域でたいせつに保管し、活用してもらうことが最良だと考えます。市への移管について、一概にはお答えできませんが、具体的な相談があった場合には、関係各課と連携しながら相談に応じていきたいと思えます。



前橋 令明  
堤 波志芽



## 県市の土地交換

〈問〉市立図書館向かいに位置する旧群馬県副知事公舎とその北側に隣接する県有の駐車場敷地について、他の市有地と交換によって取得できれば、市庁舎周辺整備の中で有効に活用できるのではないかと考えますが、

今後の土地交換の方針について伺います。

〈答〉毎年度県知事要望に上げ、重点的な取組としています。また、今後は県市連携プロジェクトチームにおいて賃貸借関係にある土地に限定せず、お互いに有効活用できる土地の交換も協議していきたいと考えています。

## 職員研修会館の利活用

〈問〉令和五年四月から空き施設となつている職員研修会館については、県庁や市庁舎、中心市街地にも近く、非常によい立地条件であることから近隣住民の皆さんも今後の利活用に高い関心を持っていますが、今後の予定について伺います。

〈答〉経年による老朽化が著しくアスベストの含有もあり、耐震改修もされていない状況のため、市が建物を活用することは困難であると考えていますので、更地または建物付きでの売却などを現在検討しています。



前橋 令明  
林 幸一



## 中高生の交通安全

〈問〉本県では、これまで一人当たりの事故件数において、中高生の事故件数が多かったものと認識していますが、①本市

中高生の交通事故状況②今後の対応について、見解を伺います。

〈答〉①令和三年と比較し、令和四年は事故発生件数、負傷者数ともに減少しましたが、二〇二一年都道府県別自転車通学時の事故件数ランキングでは、本県は中、高生ともに全国ワースト一位となっています②スマートフォンが実際の交通事故を目前で再現するスケアードストリート型の自転車交通安全教室を令和五年度からの三年間で市内全二十二校の中学校で実施する計画です。中学在学中に一度は体験してから高校に進学するため、高校生の自転車事故防止にもつながると考えています。

## 旧第五保育所駐車場の確保

〈問〉第二、第三保育所の統合移転先の旧第五保育所について、①保護者の送迎用駐車場②職員用駐車場の確保をどのように考えているのか、見解を伺います。

〈答〉①旧第五保育所の周辺にある民間の駐車場や未利用の空き地の借り上げや購入も含めて検討していきたいと考えています②旧第五保育所の東に隣接する土地区画整理事業の未利用の保留地が利用できる見込みです。





前橋高志会  
窪田 出



## 電子地域通貨ポイント事業

〈問〉電子地域通貨ポイント事業について、事業内容及び新しい視点での事業展開を伺います。

〈答〉アプリを通じて現金を電子通貨化した金額や市が付与するポイントを電子通貨として市内の参加店舗で利用することで、市内消費の拡大と経済活動の活性化を図るものです。事業展開として、市からの給付金などを電子地域通貨で支給できないか庁内で検討を進めています。

## 町社協の取組状況と課題

〈問〉町社協について、現在までの状況と具体的な実施内容や課題を伺います。

〈答〉市内の四割を超える自治会で、町社協の設立または設立予定です。高齢者の見守りや交流の場であるサロンの運営や困りごとを支援する活動に取り組むことを目指していますが、担い手が不足している地域も多く、協力者を増やす取組が必要です。



前橋高志会  
富田 公隆



## 建設業の長時間労働縮減

〈問〉仕事の生産性を高めなが

ら労働時間の縮減などに取り組む中小企業や小規模事業者などを支援する事業主団体に対する助成として、働き方改革推進支援助成金がありますが、建設業においても適用可能か伺います。

〈答〉国の助成制度で、建設業事業者の利用が可能です。令和六年四月から建設業にも時間外労働の上限規制が適用されるので、活用を勧めたいと考えます。

## 酪農家に対する支援

〈問〉飼料価格の高騰で影響を受けた市内酪農家に対する支援策として、補正予算に計上された家畜飼料価格高騰対策酪農家支援金の概要を伺います。

〈答〉飼養する二十六か月齢以上の経産牛一頭当たり二万七千円以内として、三百万円を上限に支援金を支給するもので、酪農業の持続と安定を図り、耕畜連携の取組を継続していきます。



前橋高志会  
笠原 久



## 本市における専門職

〈問〉本市には専門職と呼ばれる職員があり、各業務でその知識経験を業務に活かしていると思いますが、資格保有者を含む専門職の状況を伺います。

〈答〉職員数二千五百七十五人

のうち、土木、建築、保健師、社会福祉士、保育士、消防士などの専門職は千人以上在職しており、専門的な知識、経験が必要な所属に配置されています。

## 前橋水質浄化センター更新事業

〈問〉公共下水道の処理施設である前橋水質浄化センターは、更新事業に約二十五年の長期にわたる期間を要するということがありますが、進捗状況を伺います。

〈答〉履行期間が令和五年六月三十日までのPPP/PFI手法導入可能性調査業務を実施し、評価を行い、総合的に民間活力導入の可否が判断できるよう業務を進めています。



前橋高志会  
藤江 彰



## 特別養護老人ホームの特例入所

〈問〉特別養護老人ホームの入所は要介護三以上の人に限定されますが、やむをえない事由があれば要介護一または二の人の特例入所が認められます。要介護認定の更新により、要介護一または二に認定された場合は施設から退所しなくてはなりません。身寄りがなかったり、認知症で日常生活に支障をきたすなど個々の事情を考慮すべきです。特例入所には、施設から保

険者である自治体に意見を聞くことになっていますが、どのように審査し、意見書を交付しているのか伺います。

〈答〉居室において日常生活を営むことが困難かどうかを特例入所意見書交付検討会の構成職員により協議検討し、意見書を交付しています。引き続き透明性や公平性を確保しつつ、個々の状態などに応じて適切に取り扱っていきたいと考えています。



前橋高志会  
小曾根 英明



## 飲食店へ積極的な支援を

〈問〉新型コロナウイルス感染症の取扱いが変更された後も、飲食店の経営は依然として厳しい状況です。令和四年度には前橋商工会議所と連携し、飲食店の利用を促進する支援が行われました。令和五年度も同様の施策で、積極的な支援を図るべきと考えますが、見解を伺います。

〈答〉電子地域通貨を活用した新たな取組など、多面的な支援を行うことが重要です。飲食店事業者のニーズを把握し、効果的な支援ができるよう取組を進めたいと考えています。

## 建設業界との連携

〈問〉道路管理における災害時

の本市と建設業界との連携について、取組の現状を伺います。

〔答〕降雪時の対応として、市道の除雪作業の開始判断のため、建設業者には常に降雪状況を監視し、作業員を待機してもらっているなどの側面があります。



前橋高志会  
金井 清一



### 荻窪公園の整備

〔問〕荻窪公園の①県道南ゾーンの状況②パークPFI制度を利用したグランピング施設などの整備スケジュールを伺います。

〔答〕①平成二十八年度から着手し、令和四年度末時点で計画面積六ヘクタールのうち約一・五ヘクタールが完了しています②現在事業者が令和五年十月中の稼働を目標に準備しています。

### 温泉施設の改修

〔問〕温泉施設の老朽化への対応について、①荻窪温泉あいのやまの湯の大規模改修工事内容②粕川温泉元気ランドの施設改修見込みについて伺います。

〔答〕①令和六年度は休館し、令和三年度に実施した劣化調査の結果に基づき、運営に影響を及ぼすリスクが高い設備などの改修を行います②これまで同様に不具合箇所を適宜改修します。



荻窪温泉あいのやまの湯

また、休止しているプールの有効活用などを検討していきます。



日本共産党市議団  
吉田 直弘



### 健康保険証の発行継続を

〔問〕健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化するマイナンバー法等改正法案が国会で成立しましたが、マイナンバーカード保険証の誤情報問題や別人の住民票が発行されるなど、マイナンバーの運用をめぐる相次ぐトラブルに、強い不信感や怒りの声が上がっています。誤情報は市民の命と健康を脅かす問題であり、健康保険証の廃止は一旦立ち止まるべきです。マイナンバーカードへの一本化方針を撤回し、紙の健康保険証の発行継続と併用を国に対して強く求めてはいかがですか。

〔答〕市民の皆さんが混乱を招くことなく安心して保険診療などを受けられるよう、関係機関

からの情報収集、情報発信など、適切な対応を行ってまいります。



日本共産党市議団  
長谷川 薫



### 介護保険制度の改悪に反対を

〔問〕厚生労働省は第九期介護保険事業計画策定に向け、介護保険料や利用料の引き上げについて詰めを検討をしています。高齢者医療に続き、介護でも負担が増えれば、必要な介護が受けられなくなることは明らかです。今こそ本市は、制度の改悪に反対の声を上げるとともに、現行の介護保険財政について、国の負担を増やすなど高齢化の進行に見合う財政負担の枠組みの抜本的な見直しを求めざるべきです。当局の見解を伺います。

〔答〕介護保険制度の安定的、継続的な運営を図るために必要な措置を講ずることは、かねてより国に要望しています。安易に市町村に負担を求めず、また保険料へ転嫁しないよう、要望を続けたいと考えています。



日本共産党市議団  
小林 久子



### 要介護認定者の障害者控除

〔問〕六十五歳以上の要介護度が一から五の人で介助が必要で

あり、身体障害者と同等と認められる場合は、介護保険課が障害者控除対象者認定書を発行すれば障害者控除を受けられますが、多くの市民は制度を正しく理解するのが大変です。対象者が漏れなく申請できるように、申請書や認定書を送付するなど、市民がもっと申請できる環境を整えるべきと考えますが、制度の周知方法について伺います。

〔答〕要介護認定結果の通知に障害者控除制度の案内を同封して周知しています。お問い合わせの際には改めて説明し、申請が満たしているか確認して認定書を交付しています。引き続き、広く周知に努めたいと考えます。



日本共産党市議団  
近藤 好枝



### 放課後児童クラブにおける課題

〔問〕放課後児童クラブの現状として、特別な支援を必要とす



放課後児童クラブ

る子供たちが増え、職員体制がふじゅうぶんで手が行き届かない、また、ひとり親家庭や低所得者の利用料の負担が重いなどの課題があります。①障害児の対象にならない子供たちの実態を把握し、職員配置の対象にすべき②利用料は一律定額とし、減免制度も含めて改善すべきと考えますが、見解を伺います。

〔答〕①障害の診断はないものの、特別な配慮が必要な児童の受け入れを行った場合、市で定めた書式を提出してもらうことで人件費補助の対象としていきます②利用料の一律化などは各放課後児童クラブが提供する保育時間、職員体制などが異なることから難しいものと考えます。



公明党市議員  
石塚 武



### 不登校児童生徒の学習環境

〔問〕不登校児童生徒が教室以外の別室に登校した場合や自宅で学習する際の学習環境について、伺います。

〔答〕教室以外の別室では、教職員や本市が不登校支援として配置しているスクールアシスタントやオープンドアサポーターが個別学習の支援を行っています。自宅ではタブレットでの学

習アプリを用意したり、学習内容を担任からのメッセージとともにオンライン上で伝えるなどの学習支援も行っていきます。また市内四か所にある教育支援教室でも教科指導を行っています。

### 不登校対策への取組

〔問〕教室に入れない、登校できない子どもたちを生み出さないために、どのような取組を行っているのか伺います。

〔答〕先生と子ども、子ども同士がお互いの存在を認め合い、自己肯定感を高められる学級づくりを行えるように、また、子どもたちがやってみたいと意欲を高め、分かりやすい授業を実践できるよう支援しています。



公明党市議員  
高橋 照代



### 城南公民館の利便性向上

〔問〕城南公民館利用者の中には高齢者も多く、市民の安心、安全の確保と施設の利便性向上を図る必要があります。城南公民館へのエレベーター設置と施設全体の大規模改修に対する考え方を伺います。

〔答〕エレベーターの設置は、



城南公民館

施設全体の大規模改修を行う際に整備する方向で考えています。大規模改修については、前橋市教育施設長寿命化計画に基づき、各施設の老朽化や安全面での課題などを見極めながら検討していきたいと考えています。

### 音楽を体感できる環境整備

〔問〕市有施設に未活用ピアノを設置して、市民が身近に音楽を体感できるような環境整備を進めることが本市の芸術文化振興につながると考えますが、見解を伺います。

〔答〕環境整備について関係所管部と協議していきたいと考えています。現在音楽活動が可能な前橋市芸術文化れんが蔵については、ピアノの設置も検討していきたいと考えています。



公明党市議員  
新井 美咲子



### 市営住宅のエアコンリース事業

〔問〕市営住宅の入居者の中にはエアコンの設置費用を捻出で

きない家庭もあり、体調を崩されるのは必至です。早急にエアコンリース事業を実施すべきと考えますが、見解を伺います。

〔答〕近年の夏の猛暑における熱中症対策として、エアコンの設置はたいへん重要だと認識しています。本市としても、管理代行である住宅供給公社前橋支所と連携し、準備が整い次第実施していきたいと考えています。

### 広瀬団地建替事業の余剰地活用

〔問〕余剰地を活用して人が集まりやすいエリアとすることで、まちづくりに寄与する可能性が高いとの意見がありました。広瀬団地建替事業の余剰地活用における進展について伺います。

〔答〕商業施設や子育て施設、高齢福祉施設などを設けることで若者や子育て世代を呼び込み、高齢者との交流が生まれ、安心、安全な住環境ができ、かつにぎわいのあるまちづくりが形成されるものと考えています。



かがやき  
宮崎 裕紀子



### 上毛電鉄の今後

〔問〕今後の私鉄支援の在り方を見直すとして、県が地域公共交通活性化の再生法に基づく法定協議会の設置を表明しました。



バス転換ということになれば、これは事実上の廃線と言わざるをえません。法定協議会に臨むに当たって、上毛電鉄の今後についてどのような考えを主張していくのか方針を伺います。

〈答〉交通サービスを長期的に維持していくための在り方を協議します。沿線住民の移動機会が減少することがないよう、将来にわたって利用者、沿線住民、ひいては公共交通全体にとって最適解となるよう慎重に検討を進めていきたいと考えています。



かがやき  
浅井 雅彦



## 学校教材の調達

〈問〉学校が取り扱う教材の私的調達については、公的調達と比較して支払いの遅延が発生するなどの懸念が少なからずあるという意見を聞いています。①教育委員会の現状認識②会計ルールを順守する意識徹底への見

解③集金未収時の対応を含めた学校教材の調達に係るシステムの検証について伺います。

〈答〉①私的調達である学校預り金は、公会計に準じ、取り扱いは対して保護者への説明責任を欠くことや一般的な商取引としての妥当性を逸脱することはあってはならないと考えています②学校預り金事務ガイドラインを策定し、各学校の実情に合ったマニュアルづくりを促すとともに、チェックポイント集を配付し経理事務の適正化に努めています③各学校の取組状況を把握し、効果的な取組は情報共有が必要で。また、他の自治体の取組状況についても調査研究していきたいと考えています。



かがやき  
岡田 修一



## 群大病院などの建替え

〈問〉県の発表では県立小児医療センターを建て替えただうえで再整備する方針が示されました。また、群大病院の建替えの話も出ています。群大病院の建替えに加え、前橋市に隣接する小児医療センターの再整備は、市民が安心して健康的に暮らすための環境の充実につながるなど本市のまちづくりに寄与するもの

と考えますが、見解を伺います。

〈答〉群大病院との連携は、まちづくりの重要な要素であり、機能向上に向け意見交換したいと考えています。小児医療センターについては、本市の特徴を生かしたまちづくりに資するよう県からの情報収集に努めます。



市民フォーラム  
大澤 智之



## 保育料制度の見直し

〈問〉保育所や認定こども園で保育認定を受けている児童の保育料は、第二子に対する負担軽減が図られているものの、上の兄弟が小学生以上である場合、世帯の住民税額によっては軽減措置が適用されない児童もいます。子育て政策の充実を図るためには、世帯の住民税額や兄弟の年齢にかかわらず軽減措置を講じる必要があると感じますが、保育料制度を見直す考えはあるのか伺います。

〈答〉本市では、第二子保育料軽減の対象者を国が定める基準と同様としています。国によるこども未来戦略方針が閣議決定され、今後は多方面からの少子化対策が図られることを踏まえ、本市の子育て政策の充実に取り組んでいきたいと考えています。



市民フォーラム  
角田 修一



## 体育館空調新設に向けた計画

〈問〉国は公立学校施設の空調、冷房設備の今後について、災害発生時に地域の避難所としても利用される体育館への空調設備の設置計画を進めています。本市の令和五年度予算では、公立学校の体育館空調の新設に向けて実施設計分が計上されていますが、設置に向けた計画について伺います。

〈答〉活用する緊急防災・減災事業債の事業期間が令和七年度までとなっているので、その間に中学校の整備を完結したいと考えています。令和五年度から七年度の三か年で、中学校二十校全てに体育館への空調を設置する計画です。中学校への設置終了後は、国の動向を見ながら小学校などへの設置を検討していきたいと考えています。



公立中学校の体育館

# 総括質問



市民フォーラム  
三森 和也



## 子どもの体験型手話交流

〈問〉児童文化センターのクラブ活動で手話サークルの創設を求めたところ、サークルの創設は難しいが、手話を学び、触れることも重要と考え、体験活動事業で行うわくわく教室の中で実施を検討すると聞きました。体験型手話交流開催の検討状況と今後の実施予定を伺います。

〈答〉新型コロナウイルス感染症の位置づけが変わったことを受け、現在は主要事業の各種活動を軌道に戻し、充実した体験となるよう努めているところです。手話に関する取組や教室の運営は、新たな内容であるため、予算確保のほか、講師や内容の調整など考慮しつつ、ほかの体験教室と同様の形で令和六年度の実施に向けて準備を進めたいと考えています。



さきがけ赤城  
近藤 登



## 地方創生臨時交付金の活用

〈問〉地方創生臨時交付金は、その使い道の制限が比較的緩く、使い勝手のよい交付金として活用されていますが、本市では市

民がそのメリットを分かりやすく享受できる施策が少ないように感じます。市民生活が目に見える形で向上し、前橋市民でよかったと思ってもらえる施策を優先的に展開してもらいたいと考えますが、見解を伺います。

〈答〉本市ではこれまで地方創生臨時交付金を活用し、国や県が実施する施策の隙間を埋める形で支援を行い、相当の効果があつたものと考えています。今後もこのような経済対策に伴う財源措置が見込める場合は、市民生活の向上という視点を継続しながら、できる限り対応していきたいと考えています。



なないろ  
入澤 繭子



## 生命（いのち）の安全教育

〈問〉生命の安全教育とは、自分の体を大切にすることや性暴力に対する正しい認識を身につけることで子どもが性暴力の被害者や加害者、そして傍観者になることを防いでいこうというプログラムです。令和二年六月、文部科学省により性犯罪、性暴力対策の強化の方針が決定さ

れ、全国の学校で生命の安全教育を推進することとされていますが、教育の現場に取り入れていくことについて、教育委員会の現状を伺います。

〈答〉これまででも体育や保健、プール指導など、日々の生活と関連させながら各校で工夫して指導を進めており、教育委員会としても、発達段階に応じた生命の安全教育への積極的な取組を周知しているところです。



赤利根  
岡 正己



## 前橋公園スケートボード広場

〈問〉前橋公園のスケートボード広場は、愛好者の皆さんが待ち望んでいた施設であり、一般の公園施設と区別することで一般来場者の安全確保にもつながり、双方が安心して公園利用できる新しい価値を創造する試みであると期待していますが、現状と今後について伺います。

〈答〉公園利用者への影響を配慮し、利用者が少ない南側エリアにおいて整備を行っています。休日には仮設のセクションを設け、本格的な練習を行うなど多くの愛好者の皆さんに利用してもらっています。本年度約四百平方メートルの拡張を計画して

おり、魅力的で安全に楽しめる施設を目指し、関係団体とも連携しながら整備を進めていきたいと考えています。



七星  
中林 章



## 官民連携のビジョン

〈問〉本市は総合計画の中で新しい価値を創造するとうたい、市民、企業、行政が連携し、課題解決に取り組み、まちづくりを進めることを重要なポイントとして掲げています。行政は何のために、誰のために連携しているのか忘れてはいけないうではないかと思えます。官民連携をどのようなビジョンで取り組んでいるのか、見解を伺います。

〈答〉少子高齢化や人口減少の影響による地域課題の対応には、行政だけではなく、市民、団体、企業の協力が不可欠で、官民それぞれ役割分担も重要であると考えています。より一層市民の利便性向上や本市の魅力向上が期待できる施策について、積極的に民間との連携を進めていきたいと考えています。





# 意見書

第二回定例会では、意見書案三件を可決し、国会などに提出しました。要旨は次のとおりです。

## ○出生前、新生児期及び小児期における難聴対策の充実を求める意見書

出生前、新生児期及び小児期における、難聴対策を国に強く要望する。

①新生児聴覚スクリーニングとして、必ず生後三週間以内に新生児尿CMV核酸検査体制を確立し、新生児尿CMV核酸が陽性であれば先天性感染と診断し、画像や眼底検査等による精密検査を行い、フォローアップや抗ウイルス薬による新生児治療・療育を速やかに行う体制を確立すること②新生児聴覚スクリーニングでリファア（要再検）になった新生児が速やかに確実な診断と適切な治療及び機能回復と言語発達訓練を受けられる体制を整備し、難聴医療等の選択肢（人工内耳、補聴器、手話等）等に関し家族等へ適切に情報提供すること③全数新生児聴覚ス

クリーニング検査において保護者負担ゼロを実現し、特別児童扶養手当における利用者負担額などの所得制限を撤廃すること④手話言語獲得を含む教員の研修実施、難聴児の早期支援充実のための連携体制構築事業の促進など、難聴児の教育支援・体制を強化することや、こども家庭庁における相談支援体制の充実と未就園児のアウトリーチを含む医療・療育・機能回復と言語発達訓練・教育・福祉体制及び家族支援の、「きこえ」の全数アプローチを確立すること。

## ○保育士配置基準の引上げによる保育士の増員と処遇改善を求める意見書

保育施設において、子どもたちの命を守り、安全を確保しながら発達を保障するためには、制定以来、一度も見直されていない現行の保育士配置基準では不十分である。国は、こども家庭庁を設置し、子育て支援策を充実すると表明していることから保育士配置基準の抜本見直しは喫緊の課題であるため、次の事項に

ついて国に強く要望する。①保育士配置基準を引き上げ、保育士の増員を図ること②公定価格を引き上げ、保育士等の処遇改善を図ること。

## ○薬剤耐性菌感染症の蔓延防止への取組体制の強化を求める意見書

抗生物質などの現行の抗菌薬が効かなくなる薬剤耐性（AMR）を持つ細菌の発生により、医療機関において患者への適切な治療や手術時の感染予防などが困難となる薬剤耐性菌感染症（サイレントパンデミック）が世界的に発生している。

二〇五〇年には年間一千万人以上の死亡者数が予測されている中で、できる限り早い段階での薬剤耐性菌による感染症の蔓延を防止する体制を整えることが必要である。

地域社会の危機管理と安全保障の視点から、薬剤耐性対策を国家戦略として位置づけ、感染予防・管理、研究開発・創薬、国際協力等の積極的推進など、薬剤耐性菌感染症の蔓延防止への取組を国に強く求める。

## 次回定例会日程(予定)のお知らせ

9月5日(火)	本会議(初日)
9月12日(火)	本会議(総括質問)
9月13日(水)	
9月19日(火)	教育福祉常任委員会
9月20日(水)	市民経済常任委員会
9月21日(木)	建設水道常任委員会
9月22日(金)	総務常任委員会
9月28日(木)	本会議(最終日)

(日程は変更になる場合があります。)

本会議の傍聴は議会庁舎7階の傍聴受付で、委員会の傍聴は議会庁舎4階の議会事務局で受け付けます。

手話通訳を希望される場合は、傍聴希望日の5日前までにFAXかメールで申込書をお送りください。(申込書はHPに掲載)

## 【委員会行政視察】

所管事務について調査するために県外行政視察を行いました。

委員会、期間	視察先、調査事項
市民経済常任委員会 5月24日～26日	鳥取県鳥取市：スマートエネルギータウン構想 鳥取砂丘砂の美術館 滋賀県長浜市：黒壁を中心とした市街地活性化
建設水道常任委員会 5月24日～26日	石川県かほく市：上下水道施設を一体管理とした包括的民間委託 京都府舞鶴市：舞鶴版コンパクトシティ+ネットワーク 大阪府大東市：morineki（もりねき）プロジェクト
総務常任委員会 5月30日～6月1日	神奈川県川崎市：民間提案制度 京都府京都市：市民防災センターでの防災教育 岡山県岡山市：外部専門人材「戦略マネージャー」の活用
教育福祉常任委員会 5月30日～6月1日	宮城県富谷市：不登校特例校富谷市立富谷中学校西成田教室 秋田県大仙市：学力向上の取組 山形県山形市：SUKSK(スクスク)生活推進事業